

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立南町小学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後まできちんと話したり聞いたりすることができない児童が10%程度いる。</li> <li>書くことが苦手な児童が20%程度いる。</li> <li>言葉の意味を理解しながら正確に読むことができない児童が10%程度いる。</li> <li>平仮名や片仮名、漢字を丁寧に正確に書けない児童が10%弱程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方名人、聞き方名人の掲示を活用し、話し手に注意を向けさせることを繰り返し指導する。話す・聞くテストで、平均80点をを目指す。</li> <li>様々な教科において、自分の考えを書くなどの表現をさせ、それを交流する学習場面を設けていく。よい文章を紹介し、書く楽しさを伝える。</li> <li>図書の時間には毎週一冊の貸し出しや読み聞かせを継続し、読書に親しませる。国語タイムや家庭学習で定着を図り、学期末の漢字のまとめテストで平均80点をを目指す。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し下りの計算が定着していない児童が10%程度いる。</li> <li>時刻と時間や長さの概念が定着していない児童が10%程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数タイムや家庭学習で継続的に復習する機会を確保する。</li> <li>具体的な活動や体験を学習や生活の場面で設定する。</li> <li>各単元のテストで平均80点をを目指す。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんで運動や外遊びをする児童は全体の80%近いが、課題に対する運動にすすんで取り組む児童は50%程度である。</li> <li>児童が自分の動きを友達に見てもらい、運動のポイントを理解できるような、ペアやトリオで学び合う経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを活用し、やりたい動きや遊びを選んで取り組ませる。めあてを立て、振り返れる児童が90%以上になるように指導する。</li> <li>ペアやトリオで互いの良い動きを伝え合ったり、タブレットを活用したりする。各単元内で3回以上は学び合う時間を設定し、学期に1回以上タブレットを活用する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容が、自分の生活に結びつかない児童が10%程度いる。</li> <li>自分の考えや思いを自信をもって表現できない児童が10%程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料や友達の意見や教師の話等から、多面的・多角的に自己を振り返り、自分の良さや課題に気が付くことができるように授業展開を組み立てる。90%を超える児童が、ワークシート等に自分の生活と結び付けて学習の振り返りを書くことができるようにする。</li> <li>自分の考えや思いを児童一人一人が表現できるようにワークシートや中心発問を工夫する。90%を超える児童がワークシートに書いたことをペア学習や全体発表で自信をもって発表できるようにする。</li> </ul>

次年度に向けた  
自己評価  
(A・B・C)
